

## 第6学年 国語科学習指導案

指導者 木伏 広明

1 日 時 平成26年11月26日(水) 5校時

2 学年・学級 6年1組(計35名)

3 単元名 筆者の心情を想像して読む  
「読めなくても、書けなくても、勉強したい」  
《井上智・賞子 著、ぶどう社、2012年》

### 4 単元の目標

- 筆者の心情を酌み取りながら、意欲的に読もうとする。(関心・意欲・態度)
- 感じたことや考えたことを相手に伝わるように発表することができる。また、友達の感想や意見を聞き、互いに評価し合うことができる。(話すこと・聞くこと)
- 感想や意見を適切な言葉を使い文章にまとめることができる。(書くこと)
- 追求課題の解決に向けて、自分なりの視点を持って読むことができる。(読むこと)
- 誤字、脱字、段落などに気をつけて書くことができる。(言語事項)

### 5 単元について

本学級の児童は、読むこと、書くこと、話すことへの興味関心や能力の差が大きく、この差が授業に与える影響は大きい。また、国語に限らず、苦手な科目や労苦を伴う学習に対して、あからさまに嫌悪感を示す児童が少なくない。一方で、興味のある事象に対しては強い関心を示す傾向にある。

本教材は、筆者である井上智(いのえうさとる)氏が自身の体験をもとに書き上げたテキストである。氏は、43歳の時に自分がディスレクシアだと知ったことをきっかけに、「ほんの少しの安堵と、焼けるような悔しさ<sup>(1)</sup>」の中で、あふれ出る思いを文字にしていく。「なぜ書こうと思ったか」という問いに、氏は、「もがいてもがいて、やっと、『ああ、オレの子ども時代はもうもどってこないんだ』と思えるようになったころ、強く願ったのは、『せめて、今の時代に生きる子どもたちは、理解と支援の中で育ってほしい』ということだった。」<sup>(2)</sup>と述べている。

読み書きができないことで、教師や友だちから屈辱的な扱いを受け、親からも信頼されず、自分自身を徹底的に貶めていくしかなかった子ども時代。その、壮絶な生き方は、読み手に深い衝撃を与えずにはいられない。授業では、小学校時代の体験を取り上げ、学習者と等身大の「サトル」の心情に迫らせたい。また、感想や意見を伝え合う中で、筆者の

願いを想像できるような読みの深まりを期待している。

.....  
**(1)本書14頁より引用 (2)本書15頁より引用**

ディスレクシアとは 学習障害の一種で、知的能力に異常がないにもかかわらず、**読み書き**に非常な困難を伴う障害。文字を読むことができない、文字は読めても意味が理解できない、文字がゆがんで見える、文字の形を記憶できない、などの症状がある。〈コトバンク <https://kotobank.jp>〉  
 .....

6 単元における評価規準

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストに関心を持ち意欲的に読もうとする。</li> <li>・感想や意見を積極的に伝えようとする。</li> <li>・友だちの意見に耳を傾け、分かろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や意見を分かりやすく伝えることができる。</li> <li>・自分の感想や意見との相違を感じながら友だちの発表を聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や意見を分かりやすく文章にまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストに込められた筆者の思いを想像し読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いが伝わるように、適切な言葉を選択して話したり書いたりすることができる。</li> <li>・誤字、脱字、段落などに気をつけて書くことができる。</li> </ul>

7 指導計画 (全4時間)

- ・テキストのパート1を読み、初発の感想を書く。
  - ・テキストのパート2まで読み、ワークシート及び感想を書く。
  - ・感想や意見を発表し合う。
  - ・テキストのパート3まで読み、ワークシート及び感想を書く。
  - ・パート3の感想や意見を発表し合う。
  - ・テキストのパート4まで読み、ワークシート及び感想を書く。
  - ・パート4の感想や意見を発表し合う。
  - ・その後のサトルについて知り、感想を発表し合う。
- } (1)  
 } (本時)  
 } (1)

8 本時の目標

- 感想や意見を意欲的に伝えようとする。
- 友だちの発表を自分の感想や意見との相違を考えながら聞くことができる。
- 感想や意見を伝え合うことにより、「サトル」の境遇を理解し、主題に迫ることができる。

9 本時の授業展開

学習内容	指導上の留意点	評価規準
<p>・本時のめあてを知る。</p> <p>感想を伝え合おう。</p> <p>・小学校時代のサトルのつらかったことを発表する。</p> <p>・S先生の声かけを断るサトルの気持ちを発表する。</p> <p>・サトルにどんな声をかけてあげたいかを発表する。</p> <p>・サトルの小学校時代を一言で表す言葉を発表する。</p> <p>・ <input type="text"/> にはいる井上さんの言葉を考える。</p> <p>(あばれて机をひっくり返しているときも、ほんとは <input type="text"/> 。)</p> <p>(オレ暴れたくなんかなかった。ほんとは <input type="text"/> 。)</p> <p>(もっと <input type="text"/> たら、ちがう人生だったかもしれません。)</p> <p>・中学生になったサトルはどうなっていくのか想像したことを発表する。</p> <p>パート3を読み、感想を書く。</p>	<p>・対立するような意見があれば取り上げる。</p> <p>・状況により少人数での話し合いを取り入れる。</p>	<p>・感想や意見を分かりやすく伝えようとしている。</p> <p>・友だちの意見を自分と比較して聞くことができる。</p> <p>・筆者の心情を理解しようとしている。</p> <p>・意欲的に読もうとしている。</p> <p>・感想を整理して、書きことばで綴ることができる。</p>

## 1 0 板書計画



### 1 1 授業の視点

- 感想や意見を意欲的に伝えさせるような手立てができていたか。

### 1 2 成果と課題

#### 【成果】

- ・教師が事前にノートを点検していることにより、効果的な発表のさせ方が可能であった。
- ・子どもたちの実態を踏まえた教材を選択し、現状にふさわしい授業方法を取り入れることで、より効果的な授業を組み立てることができた。
- ・キーワードになる熟語や板書した内容に続く言葉を考えさせるなど、発問を工夫すれば、意欲的な発言を引き出すことができることが分かった。

#### 【課題】

- ・子どもたちが発表した意見をもとにして、さらに交流が深まるような手立てを考え、内容を濃くする必要がある。
- ・考える視点として問題となるような発言があれば、見落とすことなく授業に位置づけられるような、教師のタクト力を向上させることが望まれる。